

授業科目	公衆衛生看護技術論				実務家教員担当科目	○					
単位	2.	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期				
担当教員	布花原 明子										
授業概要	実務家教員として行政保健師の経験を生かし、地域で生活する個人/家族・集団・グループ・地域組織を対象とした公衆衛生看護の支援技術を解説する。対人支援活動の基本と技術をふまえ、保健指導、健康相談、健康診査、家庭訪問、健康教育について展開方法と技術を解説する。また、地域のグループ・組織の種類と特徴を概説し、各々の発展過程と支援技術及び保健師とのパートナーシップと協働について解説する。										
授業形態	講義	授業方法	グループワーク、PBL（課題解決型学習）								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>公衆衛生看護学の理論・知識を理解し、個/家族、集団、グループ・地域組織への支援方法と技術を説明できる。また、同じ健康課題を有する集団を対象とした健康教育の展開過程を理解し、立案した企画書をプレゼンテーションできる。</p> <p>1. 公衆衛生看護の機能と技術を説明できる（DP1-2, DP2-1）。</p> <p>2. 公衆衛生看護における保健指導の目的と特徴を説明できる（DP1-2, DP2-1）。</p> <p>3. 対人支援に用いる主な支援技術を説明できる（DP1-2, DP2-1）。</p> <p>4. ケースマネジメントの特徴と方法を説明できる（DP1-2, DP2-1）。</p> <p>5. 個/家族・集団・グループ/地域組織を対象とした支援方法と技術を説明できる（DP1-2, DP2-1）。</p> <p>6. 地域の健康課題解決に向けた集団への健康教育を企画しプレゼンテーションできる（DP1-2, DP2-1, DP3-2, DP4-2）。</p>										
理想的レベル	標準レベルに加え、個/家族、集団、グループ・地域組織への支援の実際について雑誌やインターネットで調べ学習し理解を深めることができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験	70%										
小テスト											
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）	20%										
レポート外の提出物	10%										
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU21503J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	

授業時に提示した学習課題について、文献などを読み、疑問点、授業外で調べたことをノートにまとめる。	4
授業計画	
第1回	公衆衛生看護の機能と技術 保健師が行う保健指導の特徴 担当：布花原明子
第2回	対人支援に用いるカウンセリング・コーチングスキル 担当：布花原明子
第3回	健康相談の目的と対象、展開方法、事後フォロー 担当：布花原明子
第4回	家庭訪問の目的、法的根拠、対象把握の方法と優先順位、家庭訪問のプロセス アウトリーチとしての家庭訪問、訪問拒否への対応 担当：布花原明子
第5回	対象特性に応じた家庭訪問の展開過程と支援の特徴 担当：布花原明子
第6回	継続訪問における保健師の支援役割 担当：布花原明子
第7回	自立した生活と地域における生活の継続を目指したケースマネジメントの過程と保健師の役割 担当：布花原明子
第8回	スクリーニングと健康診査、各種健康診査・検診の対象と法的根拠及び支援方法 担当：布花原明子
第9回	地域の健康課題を解決を目指した集団健康教育の計画・実施・評価の展開過程 担当：布花原明子
第10回	地域の健康課題解決と集団健康教育の企画（グループワーク） 担当：布花原明子
第11回	健康教育企画書のプレゼンテーションと相互評価活動（グループワーク） ICTを用いた健康教育の特徴 担当：布花原明子
第12回	地域における自主グループの発展過程と支援技術 担当：布花原明子
第13回	地域組織の種類、地域組織育成と保健師の役割 担当：布花原明子

第 14 回	<p>地域の健康課題解決に向けた地域組織活動と支援の実際 担当：布花原明子、北九州市保健福祉局健康教育担当係長</p>
第 15 回	<p>対象者の特性、支援目的に応じた支援技術の選択と連動について 担当：布花原明子</p>
テキスト	<p>・中村裕美子他著：標準保健師講座2 公衆衛生看護技術，医学書院.</p>
参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	<p>・保健師ジャーナル 医学書院 ・上野昌江他著：公衆衛生看護学，中央法規. ・宮崎美砂子：最新公衆衛生看護学総論 日本看護協会出版会 ・村島幸代：最新保健学講座2 公衆衛生看護支援技術 メヂカルフレンド社 ・麻原きよみ：公衆衛生看護学テキスト 公衆衛生看護技術 医歯薬出版株式会社</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>課題はコメントをつけて返却または受講者に共通した内容は授業時に補足して説明する。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>授業では、個/家族・集団・グループ・組織を対象とした支援方法と技術を学びます。雑誌「保健師ジャーナル」、「地域保健」などの雑誌は図書館で閲覧できます。地域の公衆衛生看護活動が写真と合わせて数多く紹介されていますので、関心・興味がある内容はテキスト以外に雑誌を読んだり、インターネット、YOU TUBE などに配信されている最新の情報にアクセスして理解を深めてください。</p> <p>また、本講義を受講するうえで、2年生前期「公衆衛生看護学概論」「健康教育論」、後期に履修する「家族看護学」で履修する理論・知識を活用します。本授業に必要な回に持参できるよう、関連科目の配布資料が整理してファイリングして準備してください。</p>